

平成 2 2 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 総合的な環境保全の推進
-------------------	--------------------------

区分	番号	名 称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	1	環境への負荷の少ないまちをつくる
施策	1	環境に配慮した暮らしの構築
小分類	2	環境保全活動の推進
主要な施策	1	省資源、省エネ生活への意識啓発
事務事業番号	001	事務事業コード 21121001 事業開始年度 平成 1 0 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	総合的な環境保全の推進経費
------	------	------------	---------------

部 名	市民生活部	グループ名	環境対策室環境対策 G
-----	-------	-------	-------------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> 登別市の良好な環境の保全並びに快適な環境の維持及び創造に関する施策を総合的に推進を図る。
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffffcc;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登別市環境基本計画に示す自然環境の保全、廃棄物対策及び資源リサイクルなどの取組状況の進行管理。</li> <li>登別市役所における温室効果ガス削減の取組み、省資源対策、廃棄物の減量化・リサイクル及び環境配慮製品の調達状況の進行管理。</li> <li>登別市環境基本計画（第2期計画）作成に係る審議（H23年度予定）等、環境保全等に関する審議を行なう「環境保全審議会」の運営。</li> <li>環境保全に関する施策を市民・事業者・行政が協働し推進する「登別市環境保全市民会議」の運営。</li> <li>登別市温暖化対策推進実行計画に基づき作成した、登別市環境配慮指針管理システム調査を実施し、市の施設において排出している温室効果ガスの削減の実施。この計画の実施期間は平成18年度から平成24年度までであるため、平成24年度には、平成25年度以降の登別市温暖化対策推進実行計画の作成する。</li> </ul>
成果	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人と自然が共生する豊かな環境の実現</li> <li>心の豊かさを感じられる生活空間の実現</li> <li>環境への負荷の少ない循環型社会の実現</li> <li>地球温暖化対策の推進を目的とした温室効果ガス（二酸化炭素）の削減</li> </ul>
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p> 環境基本法、地球温暖化対策の推進に関する法律、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律、登別市環境基本条例、登別市温暖化対策推進実行計画。

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	温室効果ガスの排出量 （二酸化炭素換算） 基準年度（H16）：18,560 t	トン	目標値	17,070	17,070	17,070	-	-
			実績値	16,170	/	/	/	/
	温室効果ガスの削減率 （二酸化炭素換算）	%	目標値	8.0	8.0	8.0	-	-
			実績値	12.9	/	/	/	/

## 事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	200	574	574	574	574	1,722
合 計			200	574	574	574	574	1,722
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	5,198	5,453			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	468	522			
		合 計		5,666	5,975			

## 担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？
細やかな情報提供と環境保全に対する意識啓発を進める上で必要な事業である。			
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？
義務教育課程における環境学習（全小学校を対象とした、こども環境家計簿夏・冬休みの取り組み、全小中学校を対象とした環境ポスター展の実施等）により環境保全意識の向上が見られる。また、一般においても町内会活動や諸団体の環境保全活動が活発になっている。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？向上させることができない理由は何ですか？
更なる情報提供等に努め、諸団体における環境保全活動を進めることが可能。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？削減できない理由は何ですか？
現在を必要最小限の経費により、施策を執り行っているため、経費の削減は難しい。			

## 担当グループによる評価

<b>維 持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	登別市環境保全市民会議は平成15年6月に発足し、これまで自然環境や生活環境に関する施策の提言や委員の出身母体の環境に関する実践活動発表、情報交換、「こども環境家計簿の作成」などを行っている。会の目的である「人と自然が共生する豊かな環境の実現」、「心の豊かさを感じられる生活空間の実現」、「公害のない健康で安全な社会の実現」の達成に向け、今後も活動を維持する。
------------	----------------------	---

## 総合的な評価（当該事務事業の方向性）

<b>維 持</b>	備考
------------	----

### 評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）